



北海道ゾーンからこんにちは



今年の植物たちはなんだか少し急ぎぎみで、まだ暑い8月のうちに木道は秋の装いになりました。夏には青い実をつけていたドングリもあつという間に熟し、実を落としています。今年の園内のドングリは豊作のようですよ♪

エゾリンドウ(蝦夷竜胆) リンドウ科

アイヌ語名:ノッコリキナなど

北海道ゾーンの中ほどを過ぎたコウモリハウス

のある辺りで濃い紫色の花の姿を見ることが出来ます。



エゾリンドウの根には強い苦味があり、この苦味成分が唾液と胃液の分泌を増加させることから古くから健胃剤として用いら

れてきたそうです。生薬品は「竜胆」とよばれ、リンドウの名はこの竜胆の漢名がなまったものといわれています。秋も深まり冬を待つひと時の彩りをぜひ見に来てください。

ハリウツギ(糊空木) ユキノシタ科

アイヌ語名:ラスパニ

8月頃、木道を歩くとアジサイのような白い花をつけた木が目をつまみます。空木という名前です

が、茎を切ってみると中は詰まった状態になっています。名前の「糊」は幹の内皮に粘液が多いため、和紙を漉すのに使う糊を作ったからだといわれています。



北海道では別名「サビタ」といいます。アイヌの人々はイオマンテの際、神の国への土産に小熊に持たせる花矢にも使っていたそうです。本当の花の部分はとても小さいため、虫をひきつけるように萼片が大きくなったものです。

編集後記

短い夏が過ぎ秋もあつという間に終わってしまう釧路。園内では雪虫も飛んでいます。だんだん太陽が出ている時間も短くなり、動物たちも冬の準備を始めています。動物園のエゾリスたちは冬もエサをきちんともらえますが、それでも習性でドングリやクルミをせっせと土の中などに隠し、冬毛へと衣替えの準備中です。

11月3日(月)の秋の遊園地まつりは、コイン式を除く大型遊具が無料で乗り放題です。4月から、たくさん楽しませてくれた遊具たちに、ぜひ乗りに来てください。

4、5Pに園内サイン看板の記事がありましたが、看板が変わっただけで、ずいぶん違う雰囲気になりました。しばらく来園されない方はぜひ遊びに来て確認してもらいたいです。中央広場には大きな看板も設置されています。来園の際には、釧路市動物園に来た記念にこの前で写真をとられてはいかがでしょうか!

A.N記

発行日 2014年9月30日
発行・編集 NPO法人 釧路市動物園協会
TEL 0154-56-2124 FAX 0154-56-2828
住所 〒085-0201 釧路市阿寒町下仁々志別11番地
ホームページ <http://np0946zookyokai.web.fc2.com/>

協力 釧路市動物園
TEL 0154-56-2121 FAX 0154-56-2140
ホームページ <http://www.city.kushiro.lg.jp/zoo/>
印刷 藤田印刷株式会社